

広報

いとはまん

1

January 2012
[No.557]

特集2

新春座談会

未来へつなぐ
豊かな海を目指して

特集1

2011年の糸満市を
主なニュースで振り返る
重大ニュース

今秋開催

第32回全国豊かな海づくり大会

美ら海おきなわ大会 ～まもろうよ きせきのほしの あおいうみ～

1月号 No.557 いとはまん

■住所/〒901-0392 糸満市瀬崎町1丁目1番地 (TEL 098-840-8246 FAX 098-840-8157)

■ホームページ/ <http://www.city.itoman.okinawa.jp/>
■発行・編集/糸満市役所 企画開発部 行政経営課 ■印刷/ (有) 金城印刷
■発行日/2012.1.5 1月号 557号

糸満市市施行40周年・合併50周年

糸満市が誕生して40周年 記念すべき日を祝して式典・祝賀会を開催



祝賀会の中で行われた「万歳三唱」

昨年の12月1日、糸満市市制施行40周年・合併50周年を祝う記念式典と祝賀会が、NBCサミング・フォー西崎で行われました。

糸満市は1961年10月1日に糸満町、三和村、兼城村、高嶺村の1町3村の合併により誕生し、10年後の1971年12月1日に県内で10番目の市に昇格しました。現在では約59,000人の市民が生活するまちとして成長しています。

記念式典の中で上原裕常市長は「今年策定した第4次総合計画において、本市の将来像を『つながりの豊かなまち』と決めました。糸満の個性と伝統的文化を受け継ぎ、市民自らが糸満らしい独自性のあるまちづくりに取り組める環境をつくり、地域への愛着と誇りを持って住めるまちにしていきたいと考えており、実現に向けて全力で取り組んでまいります」とあいさつしました。

また、記念式典の中で女性の地位向上と教育行政に尽力したとして吉川文子さん、農業所得の向上を図ったとして金城幸徳さん、学校教育の充実・発展および社会教育の振興に尽力したとして大城藤六さんの3名が新たに名誉市民として顕彰されたほか、市制功労者として51名2団体が表彰されました。

式典終了後の祝賀会では、糸満市文化協会によるアトラクションなどが披露され、約600名が糸満市の記念すべき1日を祝いました。

名誉市民

よしかわ ふみこ
吉川 文子

42年間にわたる教職生活において、女性教師の地位向上など教育行政の発展に尽くした。復帰後、沖縄県内において2人目の女性教育委員として、女性の立場から指導的役割を發揮した。ガールスカウト日本連盟沖縄県支部長、市民憲章制定推進員、糸満市女性団体連絡協議会参与など、女性の地位向上に大きく貢献した。近年は男女共同参画社会形成の講演会などの講師を務め、地域社会づくりに大きく貢献している。

きんじょう こうとく
金城 幸徳

高嶺村農業協同組合専務理事、高嶺村農業協同組合長、沖縄県経済農業組合連合会理事を歴任し、とりわけ経営基盤の確立と農業所得の向上を図るため、農産物などの本土出荷を実現し、糸満市の園芸産地の礎を築いた。また、糸満市土地開発公社の理事、教育委員長を歴任。近年は糸満市老人クラブ連合会会長、南部地区老人クラブ連合会副会長を歴任し、高齢者世代の活性化に多大なる貢献をしている。

おおしろ とうろく
大城 藤六

42年間教職に従事し、学校教育の充実発展および社会教育の振興に尽力し、多大なる実績を残している。沖縄県教育長の社会教育課長、島尻教育事務所長を歴任し、学校教育、生涯学習、PTA活動など、幅広い分野で多くの実績を残し、その功績は高く評価されている。糸満市教育長としても教育行政に尽力し大きく貢献した。現在も沖縄戦遺骨収集ボランティア、平和ガイドなど平和教育の推進に尽力し、糸満市の発展に努めている。

市政功労者

▼自治功労部門 稲嶺盛忠、大城正行、新垣哲司、玉城光蔵、玉城英明、當銘孝男 ▼教育文化功労部門 伊敷勝雄、伊敷幸昌、上原和子、大城健孝、大城則安、大野正勝、勝連昭夫、川満則明、金城政敏、東風平朝正、新垣馨、玉城信榮、玉城一春、名嘉勝男、永山孝、安田栄一 ▼産業経済功労部門 上原勲、大城健福、大城仁輝、大保新幸、玉城正実、平田勇雄 ▼社会福祉功労部門 安里長子、伊敷幸太郎、伊良波裕子、伊禮寿子、上原英子、大城誠一、神谷輝子、新垣子ヨ、平良敏子、玉得喜代美、玉城ヨシ子、照屋良子、仲西ミヨ、比嘉美奈子、山城徳八 ▼社会功労部門 上原勇、上原幸佳、喜納兼吉、崎浜盛次、知名常子、長嶺勲、比嘉とみ子、山城幸男、株式会社いとまんコミュニティエフエム放送 ▼寄付部門 社会福祉法人 大地の子福祉会

糸満市長 上原 裕常

市民の皆さまには、希望に輝く新年を迎えることとお慶び申し上げます。また、旧年中は、市政全般にわたり温かいご支援とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、昨年の状況を振り返りますと、高病原性鳥インフルエンザの感染拡大、地上アナログ放送の完全デジタル化の実施、TTP参加問題などが取り上げられる中、何よりも東日本大震災や度重なる台風来襲による大雨被害など、自然災害の脅威を強く思い知らされた年でありました。

特に3月11日に発生した東日本大震災は、多くの人命と住民の生活の糧を奪い、被災地に甚大な被害をもたらしましたが、震災直後から人々が助け合い支え合う姿に、人と人とのつながりこそが被災地を支え復興を実現してくれるものと確信をいたしました。

そのような中、政府においては本年3月で期限が切れる沖縄振興特別措置法の検証とその後、沖縄振興のあり方が答申され、沖縄県は従来の振興費より自由度の高い沖縄振興一括交付金を要望しました。復帰後4次における振興計画では高率補助の下、道路や海岸、学校などのインフラ整備は格段に進みましたが、新たな一括交付金では、これらの行政運営において地方自治体の意識改革も求められていました。これまでの国の高率補助メニューから事業を選択するといった方法から、自らの企画力や提案力で地域の振興を図り、地域の実状に合わせた柔軟な発想によるまちづくりが求められています。私自身これからの地域主権時代の到来を見据えてさらなる努力を重ねてまいります。

一方、本市においては、市制施行40周年および合併50周年の節目の年でありました。この記念すべき年に糸満市のまちづくりの将来像を「つながりの豊かなまち」と定めた第4次総合計画策定し、その実現に向け決意を新たにしたところであります。また、市制施行40周年記念事業として記念式典・祝賀会をはじめ、本市で初めてとなる市民主催事業「イチマンが一番」、地域振興券事業、糸満市民大運動会、第九演奏会など、さまざまな記念事業が開催されました。各事業の推進にあたっては、多くの市民や各種団体から多大なるご協力をいただきました。中には市民が主体となって企画・運営されたイベントもあり、市

民の「糸満を愛する想い」と「つながり」の強さを実感するとともに、市民協働のまちづくりの実践に大きな喜びを感じました。この場をお借りして全ての関係者に厚くお礼を申し上げます。

そして、努力やつながりが感動をもたらし続けた一年でもありました。糸満高校野球部の悲願の甲子園初出場は、市民や夢に向かってあらゆる分野で努力する子どもたちにも大きな感動を与えました。この栄冠は選手自らの努力はもとより、監督と選手、地域の強い信頼の絆、先生方、家族、地域の支えがあればこそ達成できたものであり、「つながり」が大きな原動力となるものと強く感じた次第であります。

さらに、海外から約100人のイチマンチユをお招きして交流を深めた「第5回世界のイチマンチユ歓迎の夕べ」では、ブラジル県人会会長の「ウチナインチユの絆の深さをあらためて感じた。これからも人、文化、経済、全ての面で相互に交流を深め、次世代へ永遠につながる」というお言葉が大変印象的でした。国や世代を越え「イチマンチユの心」が一つになったことに感動を覚え、「絆」や「つながり」を大切にして各種

施策を進めていくことの重要性を改めて認識いたしました。そのほか、糸満南小学校・幼稚園の潮崎町への移転開校、共生型交流拠点「ふくらしや館」・子育て支援の拠点「すこやか館」のオープン、絵本を介して親子の絆を深める「ブックスタート」事業の実施など、社会経済情勢の中で求められている課題に対して、スピード感を持って取り組んでまいりました。平成24年は、秋に開催される第32回全国豊かな海づくり大会に向けて漁港施設の整備が本格化されるほか、国道331号バイパスの開通により人や物、サービスの往来が活発化し、市全域に物流や観光交流の波及効果が期待されております。

地域を発展させることは私に課せられた最大の課題であり、使命であると強く認識しているところであります。本年も全力で市政運営に取り組んでまいりますので、皆さまのご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆さまにとって素晴らしい一年となりますよう心より祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。



上原 裕常 市長
Uehara Hirotsune

●New Year's Message Mayor

辰年の決意

2012
年頭あいさつ

重大

ニュース 2011年 糸満市

～糸満市の2011年を主なニュースで振り返る～

2011年は糸満市が誕生して40周年、合併して50周年にあたる記念すべき1年でした。

市民の皆さまや各種団体、行政などが一体となってさまざまな記念事業が行われました。

また、東日本大震災を受け、糸満市からも人や物資、義援金を被災地へ送る取り組みが活発に行われ、「つながり」を強く感じる1年でもありました。

4月1日 第4次糸満市総合計画 スタート

「つながりの豊かなまち」を目指して10年後の糸満市の将来像を形づくり、どのように歩んでいくかを示す「第4次糸満市総合計画」がスタートしました。



「糸満市市民活動支援センター」開所式より
市民らが参加して「つながり」をテーマにワークショップが行われました

市民らが参加して「つながり」をテーマにワークショップが行われました

- 1月
 - * 糸満市長賞にイラバニ・ニーナさん（潮平中）（10日）
 - * 吉浜正信さんが「交通安全賞章緑十字金章」を受章（18日）
 - * 糸満市地域雇用創造推進事業スタート（19日）
 - * 「県中学新人大会」で糸中女子ソフトボール部初優勝（22日）
- 2月
 - * 「糸満市中学生英語ストーリーコンテスト」で徳元理子さん（三和中）が最優秀賞（4日）
 - * 「沖縄県男子柔道選手権大会」で伊禮俊選手が初優勝（5日）
 - * 西崎太陽児童センターに新しい遊具設置（8日）
- 3月
 - * 子育て支援センターぬくぬくに新しい遊具設置（9日）
 - * 「糸満市史 資料編13 村落資料 旧兼城村編」発刊（28日）
 - * 糸満市男女共同参画会議からVIVOプラン見直しを提言（29日）
- 4月
 - * 「第6次糸満市行政改革大綱」スタート（1日）
 - * 小学校外国語活動スタート（1日）
 - * 糸満南小学校東側道路の信号機点灯（7日）
 - * 糸満産アセロラを使用した新商品発表（18日）
 - * 故伊敷四朗さんが農林水産大臣賞受賞（21日）
 - * 「緊急要請システムFAX119番」利用説明会開催（26日）

4月4日 「ふくらしや」館オープン

市役所水道部2階にある多目的ホール(元食堂)を改修し、高齢者の健康づくりや健康診断スペース、子どもから高齢者まで世代間交流による憩いのスペースを確保した共生型交流拠点「ふくらしや館」がオープンしました。



NPO いっぱ主催「たまたばこ交流会」より

世代間交流が行われている「ふくらしや館」

4月8日 全国豊かな海づくり大会が糸満市で開催決定

水産資源の維持培養と海の環境保全に対する意識の高揚などを図ることを目的に、国民的行事として行われている「全国豊かな海づくり大会」。2012年の開催地が糸満市に決定しました。



「2011おきなわ豊かな海づくりフェスタ」より

大会で行われる放流行事のイメージ

東日本大震災を受けて

3月11日に発生した東日本大震災。糸満市では被災地へ救急救命士3名と保健師2名を派遣。また、市内では「自主防災組織連絡協議会合同防災訓練」が実施されたほか、震災発生後から義援金・支援金活動を行いました。



上原裕常市長へ任務終了の報告に訪れた救急救命士

9月16日 「すこやか館」オープン

西崎に子育て支援の拠点となる、糸満市福祉プラザ「すこやか館」がオープンしました。「すこやか館」には市が実施する子育て支援事業を集約し、名称には「子どもたちがすこやかに育ってほしい」との願いが込められています。



オープニングセレモニーでのくす玉割り

糸満市市制施行40周年および合併50周年記念事業開催

市制施行40周年および合併50周年を記念して、「市民大運動会」「健康福祉まつり」「糸満が一番!」「あきね一券の発行」「こどもサミット」「第九演奏会」など各種事業が開催されました。



糸満市民大運動会で「玉入れ競争」に参加する子供たち

11月 「灰溶融施設」完成

糸豊環境美化センター内に「灰溶融施設」が完成しました。同施設では生活などから排出されるごみを既存の焼却施設で処理し、その灰などを1,200℃以上の高温で溶かし「溶融スラグ」（黒いガラス質の砂状の物質）を生成することができます。



完成した灰溶融施設の一部「灰溶融炉」
生成された溶融スラグはアスファルトの材料などにリサイクルされます

8月10日 「新南部家畜市場」糸満市に移転

八重瀬町にあった施設や敷地が狭くなるなどの状況から糸満市への移転が決定しました。新南部家畜市場では和牛セリ、ヌレ子（仔牛）セリ、山羊セリが行われています。



新南部家畜市場で行われた「糸満市畜産祭り」の様子

8月28日 「糸満市ブックスタート」が始まる

ブックスタートとは、赤ちゃん和絵本を通して子育てと読書の楽しさ、喜びを分かち合うための運動で、絵本を介して親子の絆を深め、素敵なおとぎ話を過ごしてもらうことを目的に実施しています。



ブックスタート推進員から絵本と読み聞かせをプレゼント

4月8日 糸満南小学校・南幼稚園 潮崎町へ移転

3月31日、耐震対策・老朽化に伴い進められてきた糸満南小学校・糸満南幼稚園の潮崎町への移転改築工事が完成し、4月8日には新しい校舎の糸満南小学校で入学式が行われました。



新校舎で行われた糸満南小学校の入学式

8月9日 糸満高校野球部甲子園 初出場

全国高校野球選手権沖縄大会で悲願の初優勝を成し遂げた糸満高校野球部。甲子園では惜しくも初戦で敗退しましたが、市民へ夢と希望を与えてくれました。



「怒濤精神」で甲子園を湧かせた糸高ナイン

- 5月**
 - *「米須地区環境協定」締結（15日）
 - *糸満中学校美術部によりハーレー舟にカジキの絵が描かれる（15日）
- 6月**
 - *那覇県税務所から派遣された7名に併任職員採用発令辞令交付（6日）
 - *「糸満市老人福祉計画および介護保険事業計画」策定委員会へ委員交付（7日）
 - *糸満南小学校・南幼稚園で地震、津波を想定した避難訓練実施（8日）
 - *大度海岸でサンゴの植え付け体験教室開催（19日）
 - *認可外保育園に対して図書購入費贈呈（27日）
 - *南山スクールガード結成（30日）
- 7月**
 - *消防広域化住民説明会開催（3日）
 - *美らキャロットを原料とした新商品「美らキャロット餃子」「美らキャロット入り万能だれ」の発表（4日）
 - *「糸満市少年の主張大会」最優秀賞に宜野座副善さん（三和中）（5日）
 - *美々ビーチいとまん指定管理者、糸満市消防本部、南部徳洲会病院、糸満地区水難事故防止推進協議会合同の水難救助訓練が、美々ビーチいとまんで行われる（15日）
 - *山城栄徳さん沖縄県知事賞受賞（24日）
- 8月**
 - *「くろしお号（移動図書館）」運行開始20周年（1日）
 - *「糸満自慢マガジン」の新シリーズ発刊（16日）
 - *兼城ハイッ自治会に放送設備（18日）
 - *「全国女子中学生ウエイトリフティング競技選手権大会」で知念ひめさん（糸中）が日本一（18日）
- 9月**
 - *防災の日特別講演「津波から命を守るために」開催（1日）
 - *沖縄県船舶フェスティバル2011開催（4日）
 - *国道331号バイパス糸満道路「糸満高架橋連結式」開催（26日）
 - *糸満保育所で津波を想定した避難訓練実施（5日）
 - *「南部消防操法大会」で糸満市消防団が総合優勝（7日）
 - *「世界のイチマンチユ歓迎のタペ」開催（14日）
 - *「全国障害者スポーツ大会」で大城勝一さんが金メダル（24日）
 - *「糸満市市民活動支援センター」オープン（29日）
 - *「出張なんでも鑑定団in糸満」収録（30日）
- 11月**
 - *「絵本のひろば」開催（6日）
 - *「おきなわ豊かな海づくりフェスタ2011in糸満」開催（12日）
 - *「風景づくり計画」策定へ着手（19日）
 - *「第63回県民体育大会秋季大会」が南部地区を主会場に開催（26日）
 - *「第1回西崎フェスタ報得川タマ祭り」開催（26日）
 - *「地域デザインサービス全体交流会」開催（26日）
 - *網走市と友好都市提携10周年記念再調印式（30日）
- 12月**
 - *「糸満市市制施行40周年・合併50周年記念式典・祝賀会」開催（1日）
 - *中央図書館インターネット予約開始（1日）

新春座談会

古くから漁業のまちとして栄えてきた糸満市。その糸満市に住んでいる私たちが、「全国豊かな海づくり大会」の開催を控えている今、海について考えるきっかけになればとの思いから、「未来へつなぐ豊かな海を目指して」をテーマに、海を愛する参加者に語っていただきました。

市長 明けましておめでとう
ございます。まず皆さまにお
礼申し上げます。多くの市民
の皆さまのご協力をいただき
ながら誘致活動を行ってきた
結果「第32回全国豊かな海づ
くり大会」が糸満市で開催す
ることに決定しました。本当
にありがとうございます。本
日では「未来へつなぐ豊
かな海を目指して」をテーマ
に、皆さまの海に対する意
見をお聞かせください。

未来へつなぐ 豊かな海を目指して

海を愛する参加者が、
これからの海について考える

昔の海は自然豊かで
魚がいっぱい取れた

金城 中学までは八重山で
育って高校から沖縄に来た。
糸満には昭和48年に来たが、

野が高く、波が中に入りにく
いなど漁に適した形状になっ
ています。また、サンゴなど
で舟底が削られないように喫
水を残したりするなど、サ
バニからは昔の海人（うみん
ちゅ）の知恵が感じられま
す。

そのことを「第28回九州地
区水産系高等学校生徒研究発
表大会」で「サバニの模型製
作を通してサバニを知る」を
テーマに発表したところ、み
んなから「すごいね」と言わ
れました。サバニは漁業の始
まりだと思っています。

今の海には環境問題
や漁業者の後継問題が

金城 漁業技術が進歩して網
漁業が減ってきている。建千
網（アンブシ）漁業も少しし
か残っていない。現在は釣り
漁業が主流で、昭和57年から
バヤオ漁業、平成元年から
セイイカ漁業も始まり、一時
的に水揚げも伸びたが現在で
は横ばい減少傾向にある。
漁業もいろいろと様変わり
してきている。

上原 自然環境が悪化し魚が
少なくなってきた。取れる魚の種
類も変わってきているし、漁
業体制も変わってきている。
市長 復帰前後に第一次、二
次、三次、四次と埋め立て事
業を進めてきた。特に第四次

は大きな埋め立て事業で、工
業団地、住宅用地、商業用地
と3つの目的を持って行っ
てきた。事業自体は糸満市の発
展に大きく寄与したが、その
反面海が減ってしまった。時
代の流れとしてはやむを得な
かったが、これからは昔の風
景を取り戻せるような施策を
考える必要がある。

国吉 僕のクラスでは卒業後
に海人になりたいという人は
1人しかいません。それも内
地の海人。漁に出て赤字と
のニュースをよく見聞きしま
す。それならば貨物船や商
船、フェリーに乗って仕事を
したほうがよいと考えるよう
になりました。

上原 昔は天候を自分の頭で
計算して漁に出た。漁業には
やりかたがある。どの分野で
も頑張れば必ずうまくいくと
いう気持ちで若い人を持っ
ていた。やる気が一番大
事。他人との勝ち負けではな
く、自分が頑張ればよい。苦
労して頑張った分は分かって
くる。分かったら仕事が楽し
くなる。

金城 親が海人であれば親と
一緒に漁に出る。今はそうい
うことがなくなってきた。海
人以外の親も海に子ど
も連れて行く機会が減って
きているように感じる。そう
いう現状から、実際に漁業者
の後継問題が深刻化してく
て



沖縄水産高校
国吉一寿

糸満市長
上原裕常

糸満漁協組合長
金城宏

現役海人（うみんちゅ）
上原誠一

株式会社沖縄リーガルサービス
大城美智子

全国豊かな海づくり大会キャラクター
アバサンゴ



1) 座談会の参加者で糸満漁港中地区をバックに記念撮影をしました/2) 「カサブラカの会」よりお花が提供されました/3) 参加者の海に対する思いが伝わる座談会となりました/4) 子どものころの体験を話す市長/5) 旧正月の糸満漁港中地区の風景

当時見た糸満の海はとてもきれいだっ
上原 12歳のころから叔父と一緒に漁に出ている。当時は自然豊かな海があつて魚がいっぱい取れた。取れる魚の種類も多く、とても青々としていた。追い込み漁などが主流で、一度漁をした場所でも一週間後には同じ場所でも漁ができるくらい豊富な資源があつた。糸満の漁場は沖縄全域の漁場と匹敵するくらいだと叔父から聞かされていたが、今振り返ってもそうだったと感じる。漁を終え港に船を着けると、アンマー（お母さん）たちがすぐに来て魚を売りに行ってくれた。今では

その光景が懐かしい。
金城 糸満は代表的だが、昔の漁村はだいたい豊かだった。ハワイヘカツオ漁に行ったりしていた。マグロ漁も盛んで乗組員の給料が県知事と一緒にくらいだつた。漁村が豊かになると自然と人が集まってくることを実感していた。
大城 小さいころは宮古島にいました。海に対する思いは、ばあちゃんたちと一緒に浜下りに行ったこと。その時は浅瀬でモズクやウニが取れました。それを酢味噌で和えてお汁にしていた。母が浜下りの時にウナギにかま

市長 私も字糸満の出身で、小さいころは家の目の前に船揚げ場があつた。そのころ夕方から夜にかけて見た漁火の風景が記憶に残っている。
また、よく海で泳いだりして遊んだ。子どものころ一緒に遊んだ友達とは、今でも仲良く付き合っている。そういった意味では、海が一つのコミュニティや友達づくりの場になつていったと思う。
国吉 私は昔の思い出というものはありませんが、授業でサバニを造る職人から話を聞く機会がありました。その中でサバニがいかに優れているかを知ることができました。サバニはソリがあつて視



Kuniyoshi Kazutoshi

国吉 一寿 くによしかずとし
沖縄県立水産高等学校海洋技術課3年。1年生の時から部活（バスケット）や資格取得（危険物取り扱い責任者、潜水士、海上特殊無線技士、第一級小型船舶操縦士など）に取り組む。第28回九州地区水産系高等学校生徒研究発表大会で「サバニの模型製作を通してサバニを知る」をテーマに研究発表を行う。今年3月の卒業後はJX日鉱日石タンカーへの就職が内定。



Uehara Seiichi

上原 誠一 うえはらせいいち
12歳のころに初めて漁を経験し、以来若くして海人（うみんちゅ）となる。3代目。若いころにアギヤー（追い込み漁）を経験。72歳になる今も妻と一緒に毎朝5時半に漁に出て、昼前には帰ってくる生活を繰り返す。現在は「建千綱（アンブシ）」漁業を行っており、漁以外の時間も漁具（綱など）の手入れで過ごす根っからの海人。

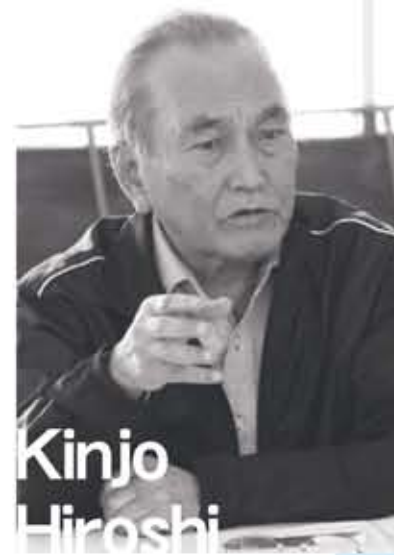
守る取り組みを通し水産業の活性化を図る」ということになっていきます。水産業全体が抱えている問題を国民に広く知ってもらい、お互いに協力しながら問題解決を図りましょうという趣旨となっています。そういった意味で全国の方に糸満市に来ていただいて、問題解決の取り組みを行う一つのきっかけになればと思っています。

大会につきましては、糸満漁港を中心にして行われます。大会は主に式典行事、放流歓迎行事、ふれあい交流行事の3つの行事で構成されています。式典行事、放流歓迎行事は天皇皇后両陛下をお招きして行うことになっています。式典行事と歓迎放流行事は沖縄県実行委員会が中心に組織しますが、ふれあい行事に関しては、糸満市を中心に組織した南部地区推進協議会を中心に取り組みます。その取



Oshiro Michiko

大城 美智子 おおしろみちこ
昭和58年に株式会社沖縄トータルサービス設立。平成4年に自社製品の「トータル天然だし」が第14回那覇の物産と観光展において優秀賞受賞。同年、会社が現在の西崎工場に完成移転。那覇商工会議所女性会会長や沖縄県商工会議所女性連合会会長を歴任。会社はトータル天然だしや海藻3点（アオサ、ヒジキ、モズク）セットなどを県内量販店にて販売。また、県内各学校や病院などに給食食材を販売している。



Kinjo Hiroshi

金城 宏 きんじょうひろし
沖縄水産高等学校卒業後、昭和46年に琉球政府八重山支庁農林水産課採用。沖縄県水産業専門技術員兼所長を経て平成13年に現職の糸満漁業協同組合代表理事組合長に就任。平成20年には沖縄県漁船保険組合組合長理事に就任。現在は漁業者の生活・利益を守る糸満漁協組合長として活動しているほか、全国豊かな海づくり大会の役員として大会成功に向けて奮闘中。

大城 海人では生活ができない、厳しいとなると若い人はなかなか漁業をやりたいと思っただけです。また、魚を取ってきた後、流通できないとなるとさらに厳しい。昔のように頭に掛けて魚を売り歩く時代でない。二次加工、三次加工をすることで、取った魚が確実に売れるという状況を作ることが、後継者問題を改善するためにも必要だと思います。

国吉 学校の中間テストで「あなたにとって漁業とはなにか」という出題がありました。簡単なことのように感じますが、自分にとっては難しい問題でした。漁に出て赤字ということや、海が汚れていて魚が減っているなどの現状があります。これらは誰が悪いということではありません。実習で各地の漁港に行く機会がありますが、ごみや油が浮いていたりします。これか

次世代に豊かな海をつなぐためこれから

上原 私は海人になって60年になりますが、良い方向に持っていく意識をみんなで見なければ、漁業は救えるとは自信がない。漁業は1人で盛り返すことができない。みんなの気持ちで盛り返すことができない。少いながらも昔のような環境に戻すことができる。

大城 糸満のかまぼこは全国的に高い評価を受けています。しかし、各事業者がそれぞれで作っている、対外的に糸満産というブランドは定着していません。糸満と言ったらトビウオ。トビウオで作ったかまぼこを作り、それをブランド化した。また、さつま揚げも良い。さつま揚げの中に美らキャロットやモズクを入れ、糸満ならではの製品ができればどこにも負けないと思います。そういう取り組みで加工品の市場を拡大できれば、海人の後継問題の改善にもつながると思います。

金城 環境問題については、海面がきれいでも透明度がないとサンゴや藻場が育たない。海を汚さないためには下水道

ら海と関わる仕事をする私たちにとっては、向き合わなければならない問題がたくさんあると感じています。

大城 たくさんの方が訪れる大会では、万全なトイレの準備がとても重要です。大会自体がよくても、トイレがだめなら来た人の印象が変わってしまいます。

上原 糸満は漁業のまちと言われている。大会を機会に本来の意味で漁業のまちだと言われるようにしていきたい。来る人に糸満が本場にいいまちだと分かってもらいたい。



「今までの海やこれからの海」「全国豊かな海づくり大会に向けて」についてなど座談会は盛り上がりしました

国吉 来て良かった、また来たいと思ってくれるような大会にしたい。私たちも私たちがなりたいことができることをします。市長をはじめ漁業者の皆さんや市民の皆さんと一緒に、県外から来るお客さんが、糸満の海はすばらしいと言ってもらえるように。



第32回全国豊かな海づくり大会
大会キャラクター アバサング

の整備も必要。干潮時には海に生活排水が垂れ流しになっている。後継者不足は本当に深刻になっている。若者が少なく、全国的に漁村もさびれてきている。関係機関や行政も手を尽くしているが、5年先、10年先がどうなるか心配している。また、漁業従事者の減少に伴い、漁獲高も減少している。昔は12億の水揚げがあったが、今は7億を割っている。正組合員も昔は300名いたが、今は152名に減っている。漁業協同組合自体をどう維持、経営していくかなど問題は多い。

ただ、厳しい話ばかりではない。一生懸命働いて、1000万程度稼いでいる海人もいる。糸満では魚類養殖も行われている。タマンとか真鯛とか磯貝とかを養殖しているが、経営が厳しいという中でも続けている。海面養殖だけでなく、陸上養殖にも目を向ければ漁業の幅が広がる。陸上養殖は水温の調整もできるし、海と比較してもある程度年齢までできる。年配に比べると1週間も2週間も漁に出ることはできないし、そのために漁獲量が減る。そういった人たちにやってもらうのもいいかもしれない。また、観光漁業という方法もある。2千円から3千円の宿に泊まって釣りをする客が意外に多い。全国の先進事例を参

考に、これから積極的に取り組んでいく必要があると思う。

市長 環境保全、後継者不足などの問題がありました。後継者をいかにして育て、生活ができる環境を作るかというところに力を入れて考えたい。漁獲高をしっかりと確保するには、今までの手法でいいのか、新たな手法にするのか、どれぐらいの漁獲高を確保する必要があるのか、そういったことをもう一度見直さないといけない。

また、魚の減少を止めるには環境保全や再生が必要で、そのためにはどうするのか、難しい問題ではあるが取り組んでいく必要がある。

本来、糸満漁港は県内の前進基地との位置付けで整備されたが、今は残念ながらそういった体制になっていない。このことも一つの課題だと認識しています。

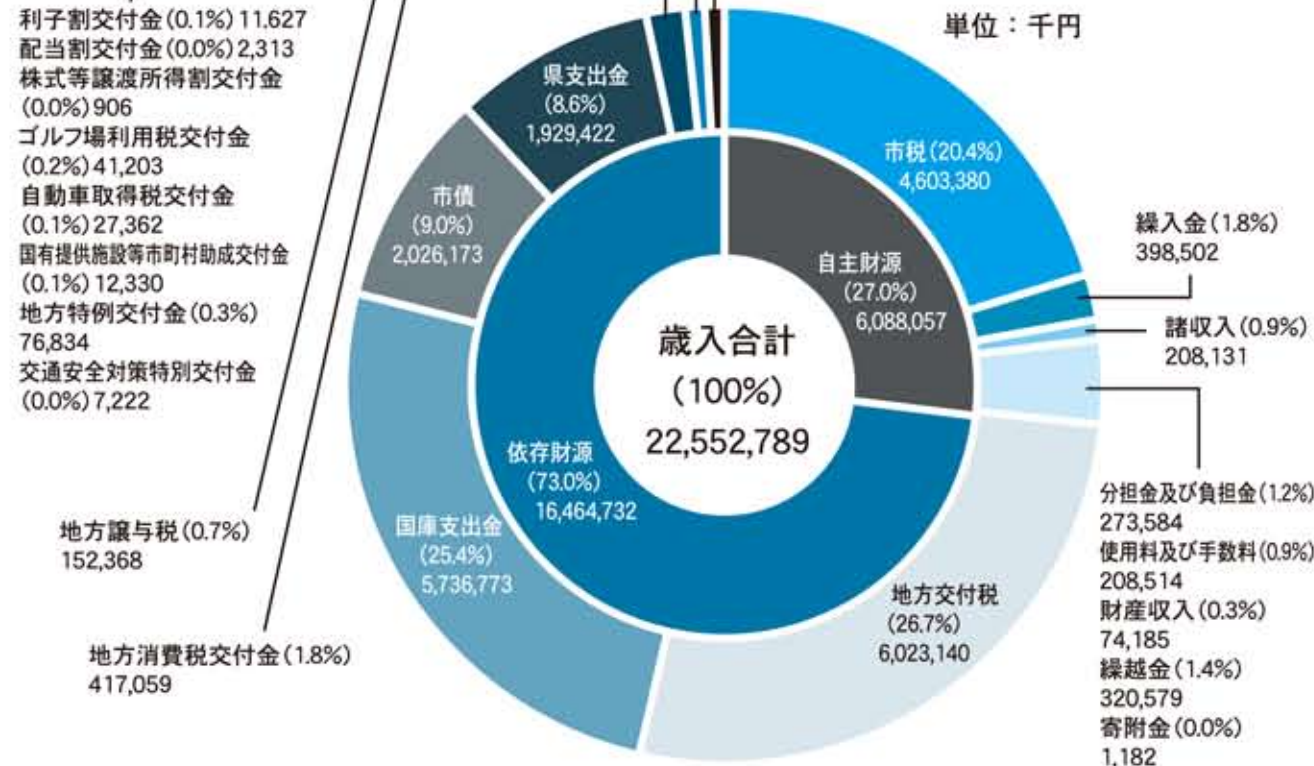
これから、一つ一つ問題の解決を図りながら、水産業の振興に努めていきたいと思っています。

全国豊かな海づくり大会に向けて
市長 今年の秋に「第32回全国豊かな海づくり大会」が糸満市で開催されます。開催理念は「海に親しみ感謝し海を

単位：千円

項目	割合	金額
歳出合計	100%	21,904,459
義務的経費	53.7%	11,773,058
扶助費	28.0%	6,128,282
人件費	15.1%	3,305,649
補助費	6.2%	1,366,333
物件費	8.0%	1,746,332
その他の経費	25.8%	5,636,569
投資的経費	20.5%	4,494,832
公債費	10.7%	2,339,127
繰出金	10.4%	2,269,767
貸付金	0.0%	7,500
投資及び出資金	0.0%	840
維持補修費	0.9%	195,387
積立金	0.2%	50,410

普通建設事業費：単独 (7.0%) 1,528,600
 災害復旧費 (0.0%) 0
 普通建設事業費：補助 (13.5%) 2,966,232



いっまん 10

トピックスいとまん



「マザータマン」を手に記念撮影

友好都市提携10周年記念再調印式



調印書を手に水谷市長（左）と上原裕常市長



夢や希望が持てる糸満市に向けて宣言！



会場には所狭しと作品が展示されていました



恒久平和を願いキャンドルポットに火を灯しました

西崎フェスタ報得川タマン祭り

11月26日と27日の2日間、「第1回西崎フェスタ報得川タマン祭り」がムクエ川河川敷広場や西崎メイン通りを会場に開催されました。同祭りは、西崎地区の活性化が目的のほか、宝くじ社会貢献広報事業の一環として開催されており、26日には、報得川周辺で子供たちが作成したミニタマンの設置をはじめ、西川保育園とはなかご保育園の園児によるダンスなどが披露されました。27日には、西崎メイン道路を封鎖してできた糸満市初の歩行者天国に約3,000人の観客が訪れ、西崎中学校の生徒によるエイサーが披露されるなど、いつもとは違った景色を楽しみました。

友好都市・網走市

11月30日、北海道網走市から水谷洋一市長らが市役所を訪れ、「友好都市提携10周年記念再調印式」を行いました。糸満市と網走市は、平成13年12月1日に友好都市提携の調印を行って以来、物産展開催などの経済的交流、スキー体験や平和学習などの青少年交流など様々な交流事業を行ってきました。再調印式で水谷市長は、両市の「糸」と「網」を引き合いに「わたしたちは“糸”で結ばれています。今後さらに交流を深め、縄に、そして網になり、絆を強めていきたい」とあいさつしました。

子どもサミット

12月5日、「子どもサミット」が市議会会議場で開催されました。子どもサミットは、児童生徒自らが大人になる糸満市の将来について夢や希望を語り合い、糸満の良さを引き継ぎ誇りに思う児童生徒の育成を図ることを目的に行われ、市内の各小中学校から32名が参加して、子どもたちの目線から見た糸満市について意見を発表しました。「ひかり」「みどり」「いのり」のグループに分かれて、つながりからイメージすることや10年後に残したいものなど、つながりあるまちづくりに向けて2回のワークショップを開き、そこで決めた各グループの意見を市長の前で宣言しました。

糸満市文化祭

12月11日、「第23回糸満市文化祭」が西崎総合体育館で開催されました。同文化祭は、糸満市文化協会会員の日ごろの活動成果を披露し、市民文化の高揚を図ることを目的に、展示部門と舞台部門で構成されています。プログラムでは、人気のお抹茶コーナーや沖縄県芸術文化祭で県知事賞を受賞した鶴見伸さんによる水彩画レッスンコーナーなどが設けられたほか、展示部門では書道や華道、茶道などが展示されました。また、舞台部門では琉舞や手話ダンス、カラオケなどさまざまな演目が披露され、会場に訪れた観客は芸術文化活動の発表を楽しみました。

糸満キャンドルナイト

12月23日、道の駅いとまん「糸満キャンドルナイト」が開催されました。今年で2回目の開催となる同イベントは、「つながり・絆・大切なもの」をテーマに開催され、児童らが「ここに灯るあかりがたくさんの人の心を照らし、未来が幸せなものであるように」と点灯のことばを読み上げました。その後、恒久平和や東日本大震災で犠牲になった人々と被災者に対して思いを込め、ペットボトルを再利用して制作したクリスマスツリーの点灯と、市内の子供たちによって絵が描かれた紙をろうそくに包み、「絆」の文字形に並べたキャンドルポット約600個に火を灯しました。



Symphonic 第九演奏会 r. 9 d. mod op. 125

400名 歓喜の「第九」 平和への願いを込め高らかに

12月18日、糸満市市制施行40周年記念事業「第九演奏会」が、西崎総合体育館で開催されました。

同演奏会は、過去の歴史を振り返り、先の大戦における犠牲者の御霊を慰めると共に、内外に平和の尊さを発信し、地域の活性化と市民協働のつながりの豊かなまちづくりに資することを目的に開催されており、実行委員長の酒屋祐定さんは「交響曲第9番には作曲家ベートーヴェンが幾多の苦難に打ち勝って得た喜び、平和、人類愛の想いが込められ深い願いが感じられます。これは糸満市が多くの困難を乗り越え発展し、40周年を迎える喜びと希望、市民一人一人の深い願いと重なります」とあいさつしました。

上原裕常市長は「本市では、今年度策定された第四次総合計画において、その基本理念にひかりとみどりといのりのまちを掲げ、将来像としてつながりの豊かなまちづくりを目標にさまざまな事業を進めているところであり、第九演奏会を開催することで、今後とも市民文化の振興と、人とのつながりを大切にしたいまちづくりを推進していきます」とあいさつしました。

演目はベートーヴェン作曲の交響曲第9番二短調作品125「合唱付」で、約400名の合唱団が高らかな歌声を響かせ、集まった1,500人以上の観客から大きな拍手が送られました。



1) 交響楽団の演奏に乗せた合唱団の歌声は圧巻の一言/2) 遠くまで響く女性の歌声/3) 小4児童から80代まで参加した合唱団/4) 大地を揺さぶる男性の歌声/5) 演奏終了後は会場から鳴りやまない拍手が送られました

Contents

募集	P14
募集・案内	P15
案内・お知らせ	P16
お知らせ	P17
健康	P20
お知らせ・相談	P21

糸満市の火災・救急

災害種別	件数	前年比
11月の火災	1 (28)	+19
11月の救急	189 (2297)	+61

平成23年11月末日現在
()内は平成23年累計
「住宅用火災警報器」を早め
に設置しましょう。

ラジオ広報 FMたまん

■糸満市役所だより
月～金 ①7時45分～7時50分
②12時55分～13時
③17時55分～18時
土・日 ④12時55分～13時

糸満市の人口・面積

世帯数	22,721 (+52)
男	29,678 (+12)
女	29,392 (+68)
総人口	59,070 (+80)
外国人登録者	177 (-3)
平成23年11月末現在	
総面積	46.63km ²
平成22年10月1日現在	

徴収業務嘱託員募集

税務課 ☎840・8129

業務内容 滞納市税の徴収業務
条件 ワード・エクセルを使用できること、地方税法などの法律を多用するため学習意欲があること
待遇 月額19万円、社会保険・雇用保険、有給休暇制度あり
採用 4月
応募方法 税務課へ写真付き履歴書を提出
申込期限 2月29日(水)

臨時職員登録者募集

人事課 ☎840・8117

業務内容 一般行政事務補助
募集人員 若干名
待遇 月額6,000円、社会保険・雇用保険、有給休暇制度あり
採用 欠員が生じた場合に、臨時的に勤務する方の登録を募集しています。登録

録者の中から必要に応じて採用します
応募方法 人事課へ写真付き履歴書を提出

公立保育所(臨時)保育士募集

児童家庭課 ☎840・8131

業務内容 公立保育所での保育業務
募集人員 若干名
資格 保育士資格を有する者
待遇 月額7,200円、シフト制、週5日(月・土、日7時間45分勤務)、社会保険あり
募集方法 児童家庭課へ履歴書、保育士証の写しを提出

中央図書館臨時職員募集

中央図書館 ☎995・3746

募集人員 若干名
職種 図書館司書
勤務 週休2日(月曜日固定、1日はシフト制)
待遇 月額6,400円、社会保険・雇用保険、有給休暇制度あり

暇制度あり
採用 4月1日
申込方法 中央図書館へ履歴書、司書資格証の写しを提出
申込期限 2月末

一般家庭ごみ収集運搬委託業者募集

生活環境課 ☎840・8124

募集人員 1名
募集要項配布 1月5日(木)～
申込期間 1月11日(水)～1月24日(火)
選考方法 書類選考後面接にて決定。詳しくはお問い合わせください

自衛官募集

平成23年度自衛官など採用試験募集案内をお知らせします。
■予備自衛官補(一般)
応募資格 18歳以上34歳未満の者

試験日 4月15日(日)～
18日(水)
受付期間 1月11日(水)～4月6日(金)
■予備自衛官補(技能)
応募資格 18歳以上で国家免許資格などを有する者
試験日 4月15日(日)～18日(水)
受付期間 1月11日(水)～4月6日(金)

自衛官候補生(男子)募集

後期高齢者医療広域連合 ☎963・8013

試験日 受付時に案内
受付期間 随時募集
問い合わせ 自衛隊沖縄地方協力本部 島尻分室 ☎992・4141

保健師・看護師嘱託員募集

勤務先 沖縄県後期高齢者医療広域連合
勤務地 うるま市石川庁舎3階
募集職種 保健師・看護師

待遇 月額20～22万円(1日6時間・週5日勤務の場合)、交通費あり
応募資格 保健師または看護師の免許保持者
勤務形態 相談による(時間・日数)
雇用期間 一年契約が基本(最長5年まで更新可)
仕事内容 保健事業に関する業務全般(関係機関・団体との事務調整、医療費分析など)
募集人員 若干名
採用日 4月2日(月)
提出書類 写真付き履歴書、保健師・看護師免許証の写し。郵送可
申込期限 2月17日(金)
選考方法 書類・面接審査
選考日 2月22日(水)
採用通知 3月1日(木)

⑦ ボランティアサポートセンターの管理
⑧ ボランティア団体連絡協議会の運営(事務局)
募集条件 高校生以上でボランティアセンター事業に興味のある方
募集期間 1月4日(水)～1月31日(火)

ねんきんネットサービスの案内

市民課 ☎840・8125

12月より開始している「ねんきんネットサービス」とは、年金加入者や受給者が、年金事務所まで行かなくても年金記録を確認することができるようサービスです。
確認できる情報は、年金記録・納付状況・厚生年金加入記録・国民年金の加入期間・これまでの加入実績に応じた年金額試算などです。
サービスの利用は、申込書の記入・免許証などによる本人確認後、情報記録をカラーコピーでお渡しします。

土地(保留地)分譲の案内

都市計画課 ☎840・8141

現在、糸満南土地地区画整理地内の土地を分譲中です。詳しくはホームページおよび都市計画課まで。

子育て応援デーの案内

児童家庭課 ☎840・8131

毎週水曜日は子育て応援デー。保育所では入所していない親子に遊ぶ場と機会を提供し、保護者の子育て支援を行います。ご希望の方は活動日時・内容を確認の上、直接実施保育所まで申し込んでください。
実施日時 毎週水曜日10時～12時
内容 保育参加・子育て相談・給食体験(希望者のみ、ただし250円の実費あり)
申込方法 毎週月曜日10時～17時の間に実施保育所へ直接申し込み

実施保育所

糸満保育所	☎992・2403
米須保育所	☎997・3456
座波保育所	☎994・7914
喜屋武保育所	☎997・3663
真壁保育所	☎997・2833

義務教育未修了者支援事業の案内

学校教育課 ☎840・8165

戦争の影響により中学校を卒業できなかった方に、学習機会の提供を行い、中学校の卒業に相当する証書の授与を行う制度です。
実施期間 平成23～25年度
対象者 昭和7年から昭和16年生まれの方で、中学校の学習内容を学び卒業

に相当する証書の授与を希望する方
内容 民間の教育施設で国語・数学・英語・社会・理科を中心に年間を通して学びます
授業料 無料
申込方法 アンケート用紙を糸満市教育委員会受けて取り、必要事項を記入して県教育庁義務教育課へ郵送してください

防災気象講演会の案内

沖縄気象台 ☎833・4283

「東日本大震災を教訓とした地域防災力の向上に向けて」をテーマに講演会を開催します。
日時 1月24日(火) 13時30分～16時30分
場所 県庁4階講堂
入場料 無料
定員 300名

危険物取扱者試験の案内

消防試験研究センター ☎941・5201

試験日 2月26日(日)
試験の種類 甲種、乙種(第1類～第6類)、丙種
願書受付期間 1月13日(金)～1月20日(金)
願書配布先 各消防本部、消防試験研究センター
願書提出先 消防試験研究センターへ郵送または直接窓口へ持参

市民ボランティア清掃の案内
水道部総務課 ☎ 995・2458
日時 1月14日(土) 9時～
集合・清掃場所 道の駅いと
まん駐車場集合(周辺清掃)
作業内容 こみ拾い

沖縄県伝統芸能公演の案内
生涯学習課 ☎ 840・8163

舞踊 かぎやで風日傘 谷茶前
組踊 萬歳敵討
日時 1月14日(土) 18時
開演(17時30分開場)
場所 農村環境改善センター
※入場無料(要整理券)

生涯学習フェスティバルの案内
生涯学習課 ☎ 840・8163

社会教育功労表彰、各団体の活動発表、中央公民館サークルの舞台発表、展示など。
日時 2月12日(日) 9時30分～16時
場所 農村環境改善センター

泡盛講座の案内
中央公民館 ☎ 992・2869

日時 1月28日(土) 15時～17時
場所 (株)比嘉酒造
対象 成人一般
定員 20名
参加費用 無料
申込期間 1月10日(火)～17日(火)

パパのための木育講座の案内
中央公民館 ☎ 992・2869

子どもに贈る、世界に一つだけのいすを作ろう
日時 1月29日(日) 10時～
場所 木の工房 楽樹
対象 成人一般
定員 15名
参加費用 3,000円
申込期間 1月10日(火)～20日(金)

ふれあい新春もちつき大会の案内
社会福祉協議会 ☎ 994・0563

日時 1月7日(土) 14時～
場所 糸満市社会福祉センター
参加費 無料

新春もちつき交流会の案内
びじゅまる児童センター ☎ 995・1937

日時 1月14日(土) 13時～
場所 まあら公園
参加費 無料

2館合同児童センターまつりの案内
太陽児童センター ☎ 992・4228

日時 2月11日(土) 9時30分～15時30分
場所 西崎総合体育館
午前の部 くるくる市(社会の仕組みが体験できるミニ町)
午後の部 舞台発表(児童センターで活動しているサークルやクラブが出演)

親子カババイ大会の案内
糸満市商工会 ☎ 992・2816

たこ作り教室、もちつきコーナー、手作りおもちゃコーナーを用意しています。先着200名、参加費無料。
日時 1月29日(日) 13時～16時
場所 平和祈念公園テラス広場

入札参加資格審査について
総務課 ☎ 840・8113

平成24年度において市が発注する「建設工事」「測量・コンサルタント」の入札参加資格審査追加申請を受け付けます。
要領など配布期間 1月10日(火)～2月10日(金)

※提出要領および様式は糸満市のホームページからダウンロードできます
受付期間 2月1日(水)～2月10日(金)

受付時間 9時～11時30分、13時30分～16時30分
受付場所 市役所総務課

教育委員会入札参加資格審査について
教育委員会総務課 ☎ 840・8160

教育委員会が発注する平成24年度の委託業務などについて、入札参加資格審査追加申請を受け付けます。
業務の種類
○汚水処理施設の維持管理

に関する業務

○消防用設備など定期点検業務
○貯水槽清掃および法定検査業務

○建築物および建築設備定期調査報告書作成業務

○耐力度調査業務

○電気工作物点検業務

○物品購入および警備保障業務
受付期間 2月1日(水)～2月24日(金)

受付時間 8時30分～12時、13時～17時

受付場所 教育委員会総務課
申請書配布期間・場所 1月20日(金)～2月24日(金)・教育委員会総務課

※申請書は教育委員会のホームページからダウンロードできます
※申請書は作成者本人が持参してください

市立幼稚園預かり保育事業について
学校教育課 ☎ 840・8165

平成24年度市立幼稚園の預かり保育事業は、前年度同様兼城幼稚園・西崎幼稚園の2園で実施します。

同事業につきましては、今後も拡充に向けて取り組みたいと考えています。

子ども手当の手続きについて
児童家庭課 ☎ 840・8131

子ども手当の受給対象者に

介護保険料について

介護長寿課 ☎ 840・8133

平成14年度から平成21年度の介護保険料を納めていない方は、3月以降は納めることができなくなります。納めていない期間が長いと、介護サービスを利用する際に自己負担が多くなったり、一度全額自己負担になる場合もあります。1月末までに介護長寿課窓口までお越しください。電話連絡をお願いします。

※相談や連絡のない場合は、時効手続きを行います

介護保険指定居宅サービス事業所の開設について
介護長寿課 ☎ 840・8133

現在、指定居宅サービス事業を行おうとする事業者は、事業所指定について沖縄県と事前協議をすることになっていますが、4月1日以降は法改正により、市の判断で当該指定について県に対し協議を求めることができるようになります。この協議の結果によつては、事業所指定を受けることができない場合もありますので、事業所開設に向けて平成23年度中に県と事前協議を予定されている方で、いまだ協議していない方は早めに行うようお願いします。

は、手続きの案内通知を昨年11月に送付しています。申請手続きがまだの方は、早めにご注意ください。
1月13日(金)までに申請手続きを行わない場合、2月10日(金)の振り込み間に間に合いません。
期限内に申請手続きができない方は、児童家庭課までご連絡ください。

公的年金などの所得税の確定申告をされている方へ

税務課 ☎ 840・8128

平成23年分以後の所得税について、その年分の公的年金などの収入金額が400万円以下であり、かつ、その年分の公的年金などに係る雑所得以外の所得金額が20万円以下である場合には、所得税の確定申告書の提出が不要となりました。

①提出不要かどうかは年ごとに判定します

②提出不要の場合でも医療費控除などによる還付申告書を提出できます

③提出不要の場合でも住民税の申告が必要となる場合があります

扶養控除の見直しが行われました
税務課 ☎ 840・8128

平成23年分の所得税、平成

24年度個人住民税から、次のような扶養控除の見直しが行われました。税額計算の際はご注意ください。
■年齢16歳未満(平成8年1月2日以後の出生)の扶養親族に対する扶養控除(33万円)が廃止されました
■特定扶養親族の範囲が年齢19歳以上23歳未満(昭和64年1月2日から平成5年1月1日までの出生)とされました
■個人が、一定の寄付金・義援金を支払った場合、確定申告で所得税還付の場合があります。
※申告会場は大変混雑しますので、自宅などから国税庁HPの「確定申告書等作成コーナー」を利用した確定申告をお勧めします
※寄付金の確定申告にはそれが控除に該当すると分かる領収書が必要です

後期高齢者医療制度の被保険者証などの切り替えについて

国民健康保険課 ☎ 840・8127

平成20年4月より、後期高齢者医療制度が施行されたことに伴い、満75歳に到達した方は、現在加入している医療



小中学校新入学児童生徒オリエンテーション・入学式について

■問い合わせ 学校教育課 ☎ 840-8165

平成24年度に市内各小中学校へ入学する児童・生徒を対象に、新入学オリエンテーション・入学式を行います（調整区域の児童・生徒に関しては、入学希望校が決定しましたら学校教育課までご連絡ください）。

オリエンテーション（説明会）						入学式
学校名	期日	受付	開始	電話番号	場所	期日
兼城小学校	2月21日（火）	14:00	14:30	994-6321	同校体育館	4月10日（火）
糸満小学校	2月16日（木）	14:00	14:30	994-2013	同校体育館	4月10日（火）
糸満南小学校	2月21日（火）	14:30	15:00	994-2121	同校体育館	4月10日（火）
高嶺小学校	2月16日（木）	14:00	14:30	994-2310	同校視聴覚室	4月10日（火）
真壁小学校	2月29日（水）	13:30	14:00	997-2016	同校視聴覚室	4月10日（火）
喜屋武小学校	2月16日（木）	15:00	15:30	997-2298	同校視聴覚室	4月10日（火）
米須小学校	2月24日（金）	14:45	15:00	997-4511	同校図書室	4月10日（火）
西崎小学校	2月16日（木）	14:00	14:30	992-3451	同校体育館	4月10日（火）
潮平小学校	2月16日（木）	14:00	14:30	992-2545	同校体育館	4月10日（火）
光洋小学校	2月22日（水）	14:00	14:30	992-0880	同校体育館	4月10日（火）
兼城中学校	2月16日（木）	14:45	15:00	994-6352	同校体育館	4月10日（火）
糸満中学校	2月9日（木）	13:30	14:00	994-2030	糸満小学校体育館 ※中学校体育館は工事中	4月10日（火）
高嶺中学校	2月16日（木）	14:00	14:30	994-2045	同校体育館	4月10日（火）
三和中学校	2月16日（木）	13:30	14:00	997-2014	同校体育館	4月10日（火）
西崎中学校	2月21日（火）	14:10	14:30	994-3050	同校体育館	4月10日（火）
潮平中学校	2月15日（水）	15:00	15:30	992-7575	同校体育館	4月10日（火）

平成24年
2月1日（水）

経済センサス活動調査

「経済の国勢調査」です。全国すべての企業・すべての事業所が対象です。

調査票は平成24年1月末日までにお届けします。2月1日以降に提出をお願いします。

- この調査は、統計法に基づく基幹統計調査で、調査票に記入して提出する義務があります。
- 提出された内容は統計作成の目的以外（税の資料など）には、絶対に使用しません。

総務省・経済産業省・都道府県・市区町村 <http://www.stat.go.jp/data/e-census/campaign/index.htm>

経済センサス 検索

あなたの土地の不発弾調査をしませんか

市民生活課 ☎ 840・8123

沖縄県では不発弾爆発事故防止のため、不発弾調査を希望する人を募集をしています。

対象箇所条件

- ※①②を満たすこと
- ①民間開発（住居・畑・空き地など）で探査予定面積が100㎡を超えること
- ②不発弾など探査・発掘に同意すること

募集受付期間 随時

調査費 無料

「住宅用火災警報器」の設置はお済みですか

消防本部 ☎ 992・3661

糸満市では、6月1日から全ての住宅の寝室、屋内階段などに住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。

糸満市管内においても、警報器の設置により火災に至らなかった事例が報告されています。お近くのホームセンターや電気店から購入できます。悪質な訪問販売には注意してください。住宅用火災警報器「未設置世帯」は消防法違反です。設置はお早めに行ってください。

また、空気が乾燥して火災が起こりやすい時期です。火の元には注意してください。

ポイ捨てはやめて！

一部の心ない人により、道路や公園にタバコの吸殻、空き缶などのごみが捨てられ、街の美観が損なわれています。

生活環境課 ☎ 840-8124

1月10日は110番の日です

糸満警察署 ☎ 995・0110

110番通報の30%が誤報やいたずらです。110番通報は事件・事故などの緊急事態の時にご利用ください。緊急時以外の相談や問い合わせは「#9110」か、最寄りの警察署までご連絡ください。

ウチナグチキャンプについて

糸満青少年の家 ☎ 994・6342

若者が「ウチナグチ」を学ぶために開催します。

日時 1月21日（土）9時～12時

対象 高校生以上

定員 30名

申込期間 1月5日（木）～

定員に達し次第締め切り

内容 ウチナグチ講座、テント宿泊、野外炊飯など

参加費 1、500円

「糸満市名所百選ポストカード展」応募作品募集

糸満市の魅力ある風景を写真を通して発見し、ポストカードにして内外に発信することで、我がまちを愛する心を育み、美しいまちをつくりあげていく事を目的に「平成23年度糸満市名所百選ポストカード展」の応募作品を募集します。

テーマ 糸満市の自然、歴史・文化財、祭祀・行事、暮らしの風景など

応募資格 居住地域、年齢、プロ・アマを問いません。どなたでも応募できます

応募費用 なし

作品の撮影期間 平成22年1月1日から平成24年1月31日までに撮影した未発表の作品

作品のサイズ プリントサイズはポストカードサイズかキングサイズ

応募作品点数 一人5点以内

作品受付期間 1月5日（木）～1月31日（火）※当日消印有効

審査会・表彰・展示会

「審査会」2月下旬ごろ

「表彰式」3月21日（水）9時30分～10時（市役所2階ギャラリー）

「展示会」3月21日（水）～28日（水）※土日除く

賞と賞品 グランプリ・金賞・銀賞・銅賞・優秀賞（賞状と賞品）、入選（賞状）

応募要項 詳細は応募要項をご確認ください。糸満市役所、市内主要写真店、道の駅いとまん、市民活動支援センターなどに置いています

問い合わせ 政策推進課 ☎ 840-8122



平成22年度グランプリ
「数少日和」 宮里邦男

相各
談種

こころの健康相談（予約制）
精神保健福祉士・保健師が応じます
日時 毎月第3水曜日 9時～11時
健康推進課 ☎840-8126

市民相談 市民生活に関する相談に市民相談員が応じます
日時 毎週月～金 9時～16時
場所 市民生活課 ☎840-8123（※祝日は休み）

多重債務相談 司法書士による無料相談
日時 毎月第3水曜日 9時30分～12時
場所 市民生活課（相談室） ☎840-8123
定員 先着5名まで随時受け付けています（要予約）

無料法律相談 弁護士による法律相談
日時 毎月第1・2・4水曜日 13時30分～15時30分
場所 市民生活課（相談室） ☎840-8123
定員 相談日の前日の9時から先着5名（要予約）

行政相談 役所の仕事に関する苦情や意見など
日時 毎月第1・2・3・4火曜日 14時～16時
場所 市民生活課相談室 ☎840-8123
※上記日程で難しい方は行政相談員と調整してください
行政相談員 金城栄子 994-5978 酒屋祐定 997-3117
國吉恒子 994-6117

人権相談 親子・夫婦・扶養・相続・いじめなど
那覇地方法務局 人権擁護課 ☎854-1215
人権擁護委員：大城美根子・伊敷康子・小嶺良信
宮城美恵子・上原研治・久保田暁・徳元典

健康相談（予約制） 健康についての悩みはこちらまで
日時 第1・3週水曜日「栄養に関する相談」9時～12時
第2・4週水曜日「高血圧、糖尿病、肥満など生活習慣病
市民健診結果についてのアドバイスなど」9時～12時
場所 健康推進課 ☎840-8126

ふれあい福祉相談
日時 毎週月曜日～金曜日 13時30分～17時
場所 社会福祉センター（ふれあい福祉相談室）
☎994-0563 ☎852-3000（専用）

障害者相談 県から委託を受けた方々です
身体障害者相談員 櫻木かほる（自）992-2723（職）995-0789
豊平朝清 992-4741
知的障害者相談員 栄盛庄美（自）997-2119

高齢者相談 在宅介護などに関して総合的に応じます
日時 毎週月曜日～金曜日 8時30分～17時
場所 糸満市地域包括支援センター
地域包括支援課 ☎840-8114

障害者（児）相談 生活・就労などに関する相談や支援
日時 毎週月曜日～金曜日 8時30分～17時15分
場所 市障害者支援センター陽だまり
☎840-8468

教育相談
日時 火・木・金 10時～17時
場所 市青少年センター（がじゅまる児童センター内）
☎995-1957（gajimaru@southernx.ne.jp）

女性相談所
日時 平日 8時30分～17時30分 / 土・日・祝祭日 10時～17時
場所 沖縄女性相談所 ☎854-1172

糸満市東日本大震災義援金および支援金
総額 21,411,017円
（平成23年12月13日現在）

皆さまのご協力により、上記の金額の義援金および支援金が集まっています。
義援金18,614,741円は、日本赤十字社を通して東日本大震災の被災地へ寄付されます。
支援金2,796,276円は、被災地からの受け入れ支援などに使われています。
糸満市では現在も義援金および支援金を受け付けています。
引き続き皆さまのご協力をお願いします。

問い合わせ 社会福祉課 ☎840-8130

子育て支援センター「ぬくぬく」
■育児講座（予約は7日前から）
『ビーズを使ってキーホルダー作り』1月11日（水）10時～
『育児のモヤモヤとの付き合い方』18日（水）10時～
『体は食べ物で作る～野菜ソムリエのお話し～』25日（水）10時～
■子育てひろは（10時～12時）
▼大川公民館（第2・第4火）▼ふくらしや館（第1・3・4木）
▼ピヨピヨタイム（第1・3金、14時～16時もあり、1歳児未満）
▼賀数宿舎集会所（毎週月）
■糸満市一時預かり事業
傷病、出産、介護、冠婚葬祭など、利用するには登録と予約が必要です。詳しくはお問い合わせください。
問い合わせ ぬくぬく ☎852-3633

子育て広場「ほかほか」
■1月のほかほか
相談日 20日（金）10時～（予約制）
サークル活動支援日 毎週（火）10時～／13時～
ベビーズタイム 毎週（木）10時～／13時30分～
ひよこ組 10日（火）13時30分～15時30分（2カ月～1歳児未満の親子が対象）
誕生会 27日（金）11時～
もちつき会 21日（土）10時～13時（要受け付け）
■1月のはくはく
自主活動 10日（火）、31日（火）10時～15時
サークル活動支援日 17日（火）10時～12時（要予約）
ベビーズタイム 24日（火）10時～12時
相談日 24日（火）13時30分～15時
問い合わせ ぽかぽか ☎992-6508

健康推進課からのお知らせ

マタニティ教室の案内
妊娠中の体のことや出産のことを、助産師や栄養士と一緒に勉強しませんか？
1回のみの参加も可能です。
①妊娠中の体づくり
1月11日（水）14時～16時／ふくらしや館
②出産ってどんなもの？
1月18日（水）14時～16時／ふくらしや館
③やってみよう「沐浴」
1月24日（火）14時～16時／農村環境改善センター
④おいしいヘルシー料理を作ろう 1月31日（火）10時～13時／農村環境改善センター
定員 各15名（要予約）

女性のためのアロマテラピー学習会
最近話題のアロマについて学習会を開催します。アロマテラピーとは、気持ちりがリラックスするだけではなく、使い方や正しい知識を持つことで、生活に活用でき、ストレス解消に役立ちます。
日時 1月11日（水）17時～19時30分
場所 市役所5階和室
講師 金城ゆかりさん（アロマセラピスト・リフレクソジスト・保健師）
定員 20人（先着順）
対象年齢 60歳台まで
申し込み 健康推進課

メタボ予防教室の案内
おなか周りが気になりましたか？
メタボ予防教室を受講してみませんか？
糸満市食生活改善推進員もお手伝いします。
日時 1回目 1月18日（水）14時～16時／市役所3階会議室C
2回目 1月27日（金）10時～14時／農村環境改善センター
定員 20名（予約制、定員に達し次第締め切り）
参加費 無料
申し込み 健康推進課

集団健診の案内
今年度最後の集団健診を実施します。この機会にぜひ受診してください。
※受診券を紛失された方および平成23年4月以降に国保に加入した方で、受診券が届いていない場合、電話での申し込みで受診券の発行ができます。事前にご連絡ください。

子宮頸がん・乳がん無料検診の案内
対象者 子宮頸がん 前年度年齢が20歳、25歳、30歳、35歳、40歳の女性
乳がん 前年度年齢が40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の女性
対象者にはピンク色の封筒で「無料クーポン券」を送付しています。
2月29日まで指定医療機関にて無料で検診を受診できます。また、クーポン券を紛失された方の再発行も可能です。

子育て支援センター「ぬくぬく」
日時 2月5日（日）8時30分～10時30分
場所 農村環境改善センター
対象者 特定健診（国保加入者で40～74歳の方）
健康診査（国保加入者で20～39歳の方）
※当日は40歳以上の市民を対象に、胃がん、肺がん、大腸がん検診も実施しています。
※健診は160名に達し次第受け付けを終了します。
※病院での個別健診は2月29日（水）まで行っています。

糸満市食生活改善推進員のお助けレシピです。
【おもてなしメニュー】
材料（8個）
▼さつまいも（300g）
▼バター（20g）
▼スライスミックス大さじ2
▼砂糖大さじ1
▼レーズン大さじ2
▼アーモンド（24g）
▼アーモンド（10g）
▼コーンフレーク（20g）
▼ソルトクラッカー（8枚）
▼卵黄（10g）
作り方
①さつまいもは1cm厚さの輪切りにして厚めに皮をむき水にさらす
②蒸気があがった蒸し器に①を入れ柔らかくなるまで蒸す
③②のさつまいもが蒸し上がったたら熱いうちにつぶしてすべての☆を加える（さつまいもの水分が足りない場合は牛乳を加えて固さを調整する）
④クラッカー1枚につき③を大さじ山盛り1乗せ、ピラミッド型に整えた物を8個作る
⑤溶きほぐした卵黄を全体に塗り、オーブントースターでこんがり焼き色が付くまで5～6分焼く
※113キロカロリー

21 いほん

いほん 20

広報いとまん「音訳CD・カセット
(声の広報)」を配布しています

目の不自由な方にも市政の動きを知って
いただくため、広報紙「広報いとまん」
をCD・カセットに吹き込み希望者に配
布しています。声の広報を希望される方
は行政経営課(☎840-8246)までご連絡
ください。

今月号の表紙

全国豊かな海づくり大会

糸満市で今年の秋に開催される「第32
回全国豊かな海づくり大会」。大会
キャラクター「アバサンゴ」と糸満保
育所の子どもたちが、大会をPRする
ため糸満漁港で記念撮影をしました。

今月号のつぶやき

ものすごいスピードで突進する「ダツ」っ
て魚を知っていますか。ちょっと前に海の
中で物思いにふけている時、すぐそばを
ダツが飛んで行きました。今年は飛んでき
たダツを素手でつかめるよう反射神経と大
胸筋を鍛えたいと思います(はせがわ)
明けましておめでとうございます。皆さん
は年末年始どう過ごされましたか？私は家
でテレビを見て、ミカンを食べ、猫と遊び、
そして太りました。今年は私の干支「辰
年」です。昇り竜との異名もあるように、
大変縁起の良い年と言われており、震災か
らの復興に向けてふさわしい干支に当たっ
たと感じています。糸満市では今年の秋に
「全国豊かな海づくり大会」が開催され
ます。多くの方が糸満市を訪れる予定です。
今からとても楽しみです(かよこ)

自治連絡員会議

1/20・2/6 3-C会議室

中央図書館

みなよむ 995-3746

○休館日
1/1~4、9、10、13、16、23、30

○おはなし会
~絵本と紙芝居の読み聞かせ~
日時 1/14(土)・28(土)
15時~
場所 おはなしのへや

○上映会(入場無料)
日時 1/15(日) 14時~
題目 アニメ「シンデレラ」
場所 中央図書館集会所(2階)

○お知らせ
■第2回中央図書館講演会
演題 言葉の持つ癒しの力
日時 2月5日(日) 14時~16時
場所 2階集会所
講師 伊狩典子(いかりふみこ)
方言ニュースキャスター
※入場無料
■ファミリー読書を推進しよう!
■図書リサイクル
~市民の皆さまへ還元します~
期間 2月4日(土)~19日(日)
場所 エントランスホール

移動図書館 くろしお号

※悪天候時は運休。()内は滞在時間

A 1/11 1/25 2/8
高嶺小学校 13:30(30分)
がじゅまる児童センター 16:10(30分)
与座公民館 17:00(30分)

B 1/21 2/4
兼城ハイツ集会所 14:00(30分)
潮平北側広場 14:40(30分)
阿波根宿舎 15:20(30分)

C 1/12 1/26 2/9
米須小学校 13:30(30分)

D 1/18 2/1
喜屋武小学校 13:20(40分)
さつきの城自治会館 16:10(30分)
米須団地 17:00(30分)

E 1/14 1/28
賀数公民館 10:00(30分)
おおたばる(賀数宿舎) 10:40(40分)
航空局糸満宿舎 14:00(30分)
願寿館 14:40(30分)
西崎1丁目集会所 15:20(30分)

F 1/22 2/5
西崎さくら公園 10:40(40分)
パークタウン自治会館 14:00(30分)
潮平高層住宅 14:40(30分)
雇用促進住宅 15:20(30分)

G 1/1 2/2
真壁小学校 13:25(40分)
H 1/17 1/31
兼城小学校 15:00(70分)

寄付 ご芳志ありがとうございます

○社会福祉協議会へ

▼山城盛栄様(南風原町)より故山城ミヨ様の香典返しとして5万円
▼大城正清様(真壁)より故大城由企様の香典返しとして5万円



ナイトウォーキングの案内
(毎月第3火曜日)

毎月第3火曜日はナイト
ウォーキングの日。体育指
導委員と一緒に楽しく歩い
てみませんか。

内容 ストレッチ、ウォーキ
ング(4~5km程度)

期日 1月17日(火)

時間 19時30分~21時

集合場所 西崎陸上競技場

対象 誰でも参加できます。
職場や団体などの参加も
大歓迎!

問い合わせ 社会体育課

☎840・8164

※雨天時は陸上競技場屋内
練習場でストレッチ&筋
トシを行います

※傷害保険などの加入はあ
りません

糸満市スポーツ少年団全団
交流大会参加チーム募集

期日 1月21日(土)

場所 西崎総合体育館

対象 市内のスポーツ少年

登録団
競技種目 大縄跳び・綱引
(4種目)
申し込み 社会体育課
☎840・8164

第28回糸満市少年少女駅伝
大会結果

12月11日、第28回糸満市少
年少女駅伝大会が西崎陸上競
技場で開催されました。

市内24自治会から選抜され
た約300名の選手が参加。

小学4年生から中学3年生ま
での男女が、1キロから2・
3キロに分かれた12区間の
コースを駆け抜けました。

大会終了後には「らんない
ずさばーと企画」代表の座安
晃さんによるランニング教室
が行われ、児童生徒らが参加
しました。

総合優勝 大里A
準優勝 真栄里チャレンジ会
3位 西崎団地

飛躍賞 西崎1丁目

区間賞(1位ののみ) ▼1

区 上原彩寧 ▼2区 杉本直

大 ▼3区 大高樹里 ▼4区

大城晴輝 ▼5区 竹本美羽

▼6区 安谷屋梨王 ▼7区

金城桃乃 ▼8区 山城たつ

き ▼9区 伊敷沙和 ▼10区

伊波大輝 ▼11区 外間亜喜

▼12区 大城直也

第27回糸満市長杯バドミ
トン大会の案内

日時 1月29日(日) 9時~

場所 西崎総合体育館

種目(団体戦) ▼Aクラス

(上級) ▼Bクラス(中級)

▼Cクラス(初級) ▼Dク

ラス(45歳以上)

※参加チームの少ないクラス

は取り止めの場合があります

チーム編成 Aクラス・Bク

ラスは男性と女性の4~6

名、Cクラス・Dクラスは

男女の区別なく6~8名

競技方法 Aクラス・Bクラ

スは男子ダブルス、女子ダ

ブルス、混合ダブルス(ほ

かのクラスと合わせて出場

可)で行う。Cクラス・D

クラスは男女の区別なく3

ダブルスで行う

※男性の代わりに女性可

参加資格 市内に住所、本籍

学校、職場のいずれかがあ

る方、または市内でサーク

ル活動をしている方

参加料 1チーム5,000円

(高校生以下4,000円)

申し込み 1月11日(水)~

21日(土)の間(所定の申

込用紙を左記まで提出

提出先 ▼西崎総合体育館

▼勤労者体育センター ▼

WINSスポーツ ▼糸満市

バドミントン協会

問い合わせ

090・8414・0951(大城)

090・1873・2366(玉城)

090・1873・2366(事務局)